

1 ハンセン病全国意識調査の結果から

4月4日の新聞報道に、「厚生労働省が初めて実施したハンセン病問題に関する全国意識調査の結果が公表され、国による教育や啓発活動の不十分さが浮き彫りになり、偏見や差別の解消が進んでいない現実が突きつけられた」とありました。全国的に見た場合、例えば、ハンセン病が未だに遺伝する病気だと思う人が14.6%もいることに、驚きを隠せません。ハンセン病は、感染力は極めて弱く、薬の開発により治療法も確立している病気ですが、長く隔離政策が続いたことで、人権侵害や差別も継続されてきた歴史があります。100%の人が完全に理解することは難しい面もあるかもしれませんが、一人でも多くの人が関心を寄せることこそ重要だと考えます。

熊本県の温泉郷でも、2003年に元患者の方々の宿泊を拒否するという事件が起きました。県外の業者が運営するホテルで、ハンセン病に対する認識の低さが背景にありました。そこから県は啓発を強化し、理解や認識の広がり努めてきました。

2 自分はどう考えるのか

肝心なことは、この調査結果を踏まえて自身を顧みることだと思います。自分だったら、この調査の質問にどのように回答するだろうかと考えてみるなど、人の認識を批判するのではなく、自分はどうなのかと常に自問自答する姿勢が必要ではないでしょうか。

マザー・テレサは、愛の反対は憎悪ではなく、無関心だと述べたと言われています。無関心、今回の調査に対しても、「分からない」と答えた人が一定数いました。世の中で起きている様々な事象に対する無関心こそ、差別や偏見を助長する根源なのかもしれません。ある事を知らない、理解していないという人は、間違った情報や悪意あるウソを安易に信じてしまうかもしれないからです。まず、正しく知ること、深く学ぶこと、そして自分はどうなのかと見つめること、それが大事なのだと思います。



おうちで食べたい給食レシピ！ 「かみかみごはん」



1人分量
ごはん…………… 150g
塩昆布…………… 3g
しらす干し…………… 大さじ1
いりごま…………… 小さじ1
えだまめ…………… 20g

【作り方】
① 炊きあがったごはんに全て入れ、ふんわり混ぜてできあがり。
★ しらす干しはそのままでもいいですが、ごま油で炒めて混ぜ合わせるとより風味がよくなります。

ひとくちメモ

6月4日から10日の一週間は「歯と口の健康週間」です。歯と口の健康のためには「よくかむこと」が重要になります。この混ぜごはんは手軽に作ることができますが、枝豆やごまがよくかめる食材であり、しらす干しはカルシウムが豊富な食材なので、歯の健康を助けます。ご家庭では朝食やおやつにおすすめです。

文芸広場

肥後狂句
鯉のぼり 何百匹が待つお宿 瀬上 歌子
鯉のぼり 絶滅危惧種 仲間入り 高木せいや
みかけ倒し おしゃれ上手で掃除下手 池田 茜
みかけ倒し 飲めん顔して六杯目 井上りんどう
みかけ倒し 口は調法空いばり 二瀬 桔梗
みかけ倒し あっけにとられ開いた口 石原かわせみ
あのお 孫の頼みじや断われん 池上 沢庵
あのお メシ風呂寝るはもう古か 庄山 道草
あのお なかなか言えぬ 金のむし 福永すみれ

かなしき原俳句会
お帰りと声かける妻燕来る 明
春深し漱石旧居守る従姉 康子
炊き上げて湯気もみどりの豆ご飯 弘子
庭の草倒し蝮の出て来たる 貞子
晩酌に春山菜の炊き合わせ 誠一

菊水俳句会
雨上がり跡を残してかたつむり 嶋田 俊一
朝鳥の遠山の青見て鳴けり 宮中 康雄
どくだみや刈るをためらう白十字 池田 松子
緑にも好きな色あり柿若葉 本田美穂子

和水町公民館図書室だより

問 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

6月は雨の季節！毎年災害を引き起こす様な大雨が降りますね。避難場所の確認など防災意識を高めましょう。
今月の本は、雨の季節が終わり夏のお出かけを家族で話し合える情報誌と外遊びが出来ない時期にお家で出来るせいさくあそびの本です。雨の季節を楽しみましょう。



「るるぶ『25最新版北海道』
(JTBパブリッシング)」

今年の休みは何処へ行きますでしょうか。国内？国外？海？山？地図を見ながら街歩きも楽しいし聖地巡りも楽しいですね！

北海道のるるぶ最新版は、一度は見たい！感動絶景と絶品グルメ。おみやげ＆新千歳空港の紹介と旭山動物園まるわかりガイドなど楽しいスポットがたくさん掲載されています。

ほかにも、京都、大阪、福岡、沖縄の情報誌もあります。実際に行けなくても見るだけでも楽しいですよ。



「0.1.2歳児せいさくあそび 88」
(学研)」

小さい子どもの製作は、子どもの発達に配慮した準備が大切です。子どもの前でやってみて興味を示したら一緒にやってみましょう。興味がないなら、無理せずにもた今度。繰り返し遊んで、少しずつ様々な素材に触れる楽しさを経験できるといいですね。